

支えあいの啓発

団塊の世代が75歳以上になる
2025年に向けて
支えあい会議がスタート

地域に必要な活動づくり

地域支えあい推進員を全地域
に配置し支えあい会議を展開

支えあいの機運向上と各地域でたすけあい活動と通いの場が創出

各地域で支えあいの機運向上 | たすけあい団体と通いの場の広がり充実

元気高齢者の活躍の場の創出

各地域で新たなつながりの展開

2015~2016 | H27~H28年度

2017 | H29年度

2018~2019 | H30~R1年度

2020 | R2年度

2021~2022 | R3~R4年度

- ・ちょっとした手助けが必要な方が増え、地域の支えあい活動（生活支援）がスタート
- ・支えあい会議※1の実施と地域支えあい推進員※2の段階的配



2016.1

- ・柏市訪問型生活支援サポーター（かじサポ）養成講座開始（70名養成）

2016.4

- ・たすけあい活動※3及び通いの場※4の補助金交付申請開始
- (交付団体数)
たすけあい活動 34団体
通いの場 14箇所



- ・各地域の支えあい会議が年間60回以上となる



最近の支えあい会議では、
テーマに応じたメンバーで実施しています。



2017.12

- ・初めての支えあいシンポジウムを開催



地域での支えあいの機運が一層高まりました。

- ・たすけあい活動の提供件数が20,000件以上
- ・通いの場が16箇所、開所数が2,500日を超える

2019

- ・通いの場パンフレットの発行



以降、シンポジウムや研修会といった形で毎年開催♪

- ・コロナ禍でも元気に活動！
- たすけあい活動 62団体
通いの場 18箇所



2021.3

- ・各地域のサークル団体、サロン・通いの場、たすけあいサービス等をまとめた地域元気情報を発行！掲載数900超！



- 「通いの場×〇〇」も！
- ・たすけあい団体とのコラボ
- ・ヤングケアラーや不登校児童支援等とのコラボ



2021.10

- ・ZOOM講座修了生によるシニアオンラインフェスティバルを開催



元気高齢者の創出とコロナ禍での活動

- ・元気高齢者を増やす地域づくりの議論
- ・コロナ禍で培ったノウハウの集約と情報の発信
- ・生活支援サービス等を提供している企業との連携事業「助っ人ボラ」の試行



企業とのコラボも！

2022.6

- ・スマホボランティア養成講座修了生が講師となってサロン等に出張無料講座（32回）を実施



※1 支えあい会議とは

地域のニーズや課題を共有し、支えあい活動の充実について様々な立場でご意見をいただく場として各地域で行われています。



※2 地域支えあい推進員とは

2015年から市内21の地域に配置され、支えあい会議の運営や地域で必要なサービスの開発及び人材育成を行っています。



※3 たすけあい活動とは

地域で生活をおくる上でちょっとした困りごとを地域の皆さんでたすけあう活動です。



R4年度団体数
71団体

※4 通いの場（コミュニティカフェ）とは

地域の方々が気軽に集まってお喋りやイベントが行われている身近な場です。

R4年度団体数
226団体

※サロン含む